

## 目的

近年の産前・産後の支援に関わる市民ニーズの高まりや、国の活発な施策の動きなどを踏まえ、市民活動団体や医療機関、行政との連携による舞鶴市の取り組みの方向性や役割分担体制等を議論・検討し、第3期子ども・子育て支援計画の策定と、計画内容の実現に向けて取り組む。

## 市の現計画より

第2期夢・未来・希望輝く「舞鶴っ子」育成プラン抜粋（令和2年3月策定）

～主な取り組みの方向～

□妊産婦の健康診査

妊産婦の健康管理や健診費用の負担軽減のため、「妊婦健康診査」「産婦健康診査」および「妊産婦歯科健康診査」の受診券を交付します。また必要に応じて医療機関と連携し、家庭訪問や産後ケア事業の利用など、早期支援に努めます。

## 主な国の動向

令和元年12月	産後ケア事業の法定化（母子保健法）
2年5月	少子化社会対策大綱において、令和6年度末までの全国展開を目指すとした （R4年度時点で約84%市町村で実施）
2年8月	産前・産後サポート事業ガイドライン / 産後ケア事業ガイドライン 発出
4年12月	全世代型社会保障構築会議とりまとめ 産後ケアを希望する全員が産後ケアを利用できるよう体制の充実を図る
5年1月	出産・子育て応援交付金創設 伴走型相談支援（面談実施）と経済的支援（10万円給付）の一体的実施
5年6月	こども未来戦略方針 利用者負担の軽減措置、提供体制の確保

## 舞鶴市の事業

平成30年4月～ 舞鶴市産後ケア事業

利用者	短期入所 上限3回、課税7,500円/回、非課税等1,000円/回（食事別）	※自己負担を左記額から差し引く ※別途加算あり
	通所（個別）上限3回、課税3,500円/回、非課税等500円/回（食事別）	
	通所（集団）上限6回、課税2,000円/回、非課税等300円/回（食事別）	
委託料	短期入所 30,000円/日	※自己負担を左記額から差し引く ※別途加算あり
	通所（個別15,000円/日、集団9,000円/人）	

## 舞鶴市産後ケア事業の実績の推移

年度	産婦 (数)	実人数	延べ人数	延べ人数				
				個別型			集団型	
				短期入所型	通所型	実施場所	通所型	実施場所
H30	498	3	6	4	2	みき助産院 共済病院		
R1	530	21	56	19	37	みき助産院 共済病院 片山産婦人科		
R2	545	36	83	14	69	みき助産院		
R3	513	35	75	3	33	みき助産院	39	ふるるファーム (6月から)
R4	514	66	120	8	50	みき助産院 片山産婦人科	62	ふるるファーム
R5	418	65	104	3	35	みき助産院 共済病院	66	ふるるファーム

令和2年度までは、4か月未満児を対象に実施。  
令和3年度からは、対象を1歳児未満に拡げるとともに、集団型を実施。その結果、利用者数が増加。

## 産後うつハイリスク者と産後ケア利用者の推移

年度	ハイリスク者人数	ハイリスク者割合	産後ケア利用者の割合
R1	114	13	8.8
R2	105	10.5	18.9
R3	71	8.1	22.5
R4	100	10.6	23
R5	72	9.5	30.6

産後うつハイリスク者の国の平均は令和3年度で9.7%。  
舞鶴市において、平均がそれ以上。  
産後うつハイリスク者のうち、産後ケア利用者は3割弱。

## 令和5年度市民との対話集会より

主な意見からの抜粋

令和5年11月12日 産後ケアの重要性を認識していただきたい、周知いただきたい

## 産後ケア事業実施風景

### 個別型（産科医療機関・助産院）



### 集団型（ふるるファーム）



### 助産師と相談



## 産前・産後サポート部会

### 1. 位置づけ：舞鶴市子ども・若者支援会議条例（以下抜粋）

（部会）

第8条 子ども・若者支援会議に、部会を置くことができる。

2 部会は、会長が指名する委員及び臨時委員をもって組織する。

3 部会に部会長を置き、部会に属する委員のうちから会長が指名する。

4 部会長は、部会の事務を掌理する。

5 部会長に事故があるとき、又は部会長が欠けたときは、部会長があらかじめ指名する部会の委員が、その職務を代理する。

2. 主な役割：市内の医療、保健、福祉等に関わる各機関の現状と課題を共有し、産前・産後の支援の在り方と今後の目指す方向についてとりまとめ、第3期子ども・子育て支援計画の内容に生かすとともに、取り組みの評価や新規事業の提案、計画期間中（令和7～11年度）の当該取り組みの進捗管理を行う。

3. 部会メンバー（敬称略）：

舞鶴市子ども・若者支援会議：京都府助産師会丹後支部 支部長 永木ひとみ

NPO法人まいづるネットワークの会 副理事長 上野和美

公募委員（NPO法人ひとまわり） 谷口英子

臨時委員：舞鶴医療センター、舞鶴共済病院、舞鶴赤十字病院、片山産婦人科

みき助産院、Ladies care studio WATASHI

事務局：舞鶴市こども家庭しあわせ課（こども家庭センター）

## 今年度のスケジュール

☆子ども・若者支援会議第1回会議での部会設置の説明

令和6年7月下旬 第1回部会 産後ケアに関わる現状など

8月下旬 第2回部会 取り組みの方向性に関わる議論

9月下旬 第3回部会 方向性議論、とりまとめ

※部会の参集時のみならず、メール等での意見交換を実施

☆子ども・若者支援会議第2回会議（11月頃予定）に“まとめ”を上程

※以降、計画策定過程で適時意見聴取（計画の進捗を見るため、次年度以降も部会は継続）